大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F128310108703	設置等組織名	理工学部（環境・エネルギー工学科）
大学名	甲南大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	兵庫	事業計画名	甲南大学　既存学部における学科の新設

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
令和5年度	1-① 令和5年7月　検討体制の整備 1-② 令和5年9月　先端研究社会実装シンポジウムでのヒアリング 1-③ 令和5年12月　設置方針の策定 1-④ 令和6年3月まで 設置構想・方針に関する企業等との事前協議及び地域ニーズの調査の実施と構想の具体化 2前-① 令和5年度　新棟建設にかかる法定調査	1-① 令和5年7月　検討体制の整備 1-② 令和5年9月　先端研究社会実装シンポジウムでのヒアリング 1-③ 令和5年12月　設置方針の策定 1-④ 令和6年3月まで 設置構想・方針に関する企業等との事前協議及び地域ニーズの調査の実施と構想の具体化 2前-① 令和5年度　新棟建設にかかる法定調査	令和5年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。 理工学部環境・エネルギー工学科において、当初、入学定員を40名とし、他の学部・学科の入学定員を10名減じ、大学全体の入学定員を30名純増する計画であったが、その後の検討により、他の学部・学科の入学定員を40名減じ、大学全体の入学定員を増減なしとする計画に変更する。これに伴い、令和7年3月の新学科設置申請を、令和7年4月の新学科設置届出に変更する。
令和6年度	1-⑤ 令和6年9月まで 学習目標等の具体化とカリキュラムの編成・構築、教員体制の整備、入試制度の設計 1-⑥ 令和6年11月　新学科設置にかかる文部科学省事前相談 新学科に関する入学意向調査及び当該分野の人材需要調査の実施 2前-② 令和6年度　既存校舎解体工事及び新棟建設にかかる基本設計	1-⑤ 令和6年9月まで 学習目標等の具体化とカリキュラムの編成・構築、教員体制の整備、入試制度の設計 1-⑥ 令和6年11月　新学科設置にかかる文部科学省事前相談　（11月12日） 新学科に関する入学意向調査及び当該分野の人材需要調査の実施 2前-② 令和6年度　既存校舎解体工事及び新棟建設にかかる基本設計	令和6年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1後-⑦ 令和7年4月　新学科設置申請（4月30日届出予定） 1後-⑧ 令和8年3月まで 新学科学生募集・入試実施 2-③ 令和7年度　新棟建設にかかる基本設計・建設及び新任教員採用に伴う環境整備（R8.3.18承認）	1後-⑦ 令和7年4月　新学科設置申請（4月30日届出） 1-後⑧ 令和8年3月まで 新学科学生募集・入試実施 2-③ 令和7年度　新棟建設にかかる基本設計・建設及び新任教員採用に伴う環境整備	令和7年度自己評価：【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	1後-⑤ 令和8年4月着任予定であった教授1名の就任辞退があった。基幹教員数は設置基準に定められている定数を満たしていることから、文部科学省へは履行状況調査報告書で報告の上、改めて募集を行い、教員体制の整備を行う。 2後-④ 令和8年度　新学科の実験・教育・研究設備を備えた新棟建設（R8.3.18承認） 3-① 令和8年度　新学科開設、導入教育の実施、短期留学プログラムの参加促進 なお、女子学生確保、地域の初等中等教育段階の学校との連携及び内部質保証活動は毎年度実施		令和8年度自己評価：リストから選択してください。
令和9年度	2後-⑤ 令和9年度　新棟利用開始（R8.3.18承認） 3-② 令和9年度　専門分野に関する基礎教育の実施 なお、女子学生確保、地域の初等中等教育段階の学校との連携及び内部質保証活動は毎年度実施		令和9年度自己評価：リストから選択してください。
令和10年度	3-③ 令和10年度　在籍学生に対する進路希望調査と進路開拓 なお、女子学生確保、地域の初等中等教育段階の学校との連携及び内部質保証活動は毎年度実施		令和10年度自己評価：リストから選択してください。
令和11年度	3-④ 令和11年度　企業等と連携したPBL型科目の導入、リサーチフェスタ※等での研究成果発表 なお、女子学生確保、地域の初等中等教育段階の学校との連携及び内部質保証活動は毎年度実施 ※リサーチフェスタとは、文系・理系を問わず、高校生と大学生、大学院生が自分たちの「研究」や「調査」「活動」について発表、議論する、甲南大学独自のイベント		令和11年度自己評価：リストから選択してください。
令和12年度			令和12年度自己評価：リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価：リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価：リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和7年4月　理工学部環境・エネルギー工学科　学科の設置届出予定	令和7年4月　理工学部環境・エネルギー工学科　学科の設置届出	
定員減又は 学部等の廃止	令和7年4月　経済学部経済学科10人減員に係る届出予定（入学定員345人のうち10名を助成対象の学科の入学定員に充足、経済学関係） 令和8年度　経済学部経済学科10人減員予定（同上） 令和7年4月　経営学部経営学科10人減員に係る届出予定（入学定員345人のうち10名を助成対象の学科の入学定員に充足、経済学関係） 令和8年度　経営学部経営学科10人減員予定（同上） 令和7年7月　理工学部物理学科50人減員に係る学生募集停止の報告予定（入学定員50人のうち5名を助成対象の学科の入学定員に充足、工学関係・理学関係）令和8年度　理工学部物理学科学生募集停止の予定（同上） 令和7年7月　理工学部機能分子化学科60人減員に係る学生募集停止の報告予定（入学定員60人のうち15名を助成対象の学科の入学定員に充足、工学関係・理学関係）令和8年度　理工学部機能分子化学科学生募集停止の予定（同上） （R8.3.18承認）	令和7年4月　経済学部経済学科10人減員に係る届出（入学定員345人のうち10名を助成対象の学科の入学定員に充足、経済学関係） 令和8年度　経済学部経済学科10人減員（同上） 令和7年4月　経営学部経営学科10人減員に係る届出（入学定員345人のうち10名を助成対象の学科の入学定員に充足、経済学関係） 令和8年度　経営学部経営学科10人減員（同上） 令和7年7月　理工学部物理学科50人減員に係る学生募集停止の報告（入学定員50人のうち5名を助成対象の学科の入学定員に充足、工学関係・理学関係）令和8年度　理工学部物理学科学生募集停止（同上） 令和7年7月　理工学部機能分子化学科60人減員に係る学生募集停止の報告（入学定員60人のうち15名を助成対象の学科の入学定員に充足、工学関係・理学関係）令和8年度　理工学部機能分子化学科学生募集停止（同上）	

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	甲南大学

２.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
すべての項目に該当していない					

３.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

４.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
□ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
教学アドバイザリー・ボード構成員など産業界で活躍する本学卒業生の企業、本学と共同研究を実施している企業や地元企業等と連携したPBL型科目について、当該企業から講師を招いて、本学専任教員と共同で担当することを計画している。これらのPBL型科目に関する教育体制については、上述した新学科設置の検討体制における議論を通して、フェーズ１期間内に具体化して行く。 また、実践的な外国語活用能力の育成を目的として、本学の国際交流センターが提供し、他学部において実績のある短期留学プログラム（エリアスタディーズ、オンライン留学など）に、希望する学生が参加できるようにすることも含め、体系的なカリキュラムの編成・構築をフェーズ１期間中に行っていく計画である。	教学アドバイザリー・ボード構成員など産業界で活躍する本学卒業生の企業、本学と共同研究を実施している企業や地元企業等と連携したPBL型科目については、2030年度からの実施に向け、現在準備を進めている段階である。具体的には、大学都市神戸産官学プラットフォームの活用も視野に入れつつ、連携先企業との具体的な教育実施体制の構築方法や、教育的効果の高いPBLの進め方について検討を進めている。また、実践的な外国語活用能力の育成を目的として、本学の国際交流センターが提供する短期留学プログラム（エリアスタディーズ等）については、希望する学生が参加可能となるようカリキュラム上に位置付けており、今後の学生の履修・参加状況を踏まえながら、体系的な運用を進めていく。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

□ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
□ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
□ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
女子学生確保及び志願者数増に向けた取組として、本学の理工学部、知能情報学部、ﾌﾛﾝﾃｨｱｻｲｴﾝｽ学部と協調して、特定の女子校を主な対象とした学部見学会や学修体験会等を令和4年度から実施している。これらの取組を継続するとともに、共学校に在籍している女子学生に対しても、その枠を広げていくことを計画している。また、地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）に関しては、出張授業等の要望があった中学・高校に対して積極的に行っているほか、夏休みには、『理工学部一日科学体験』と題して、高校生を対象に先端的な科学実験の体験学習を行っている。さらに、系列校である甲南高等学校・中学校に対して、9月の土曜日に理工学部の施設見学及び大学での教育・研究を体験する催しを行っているほか、神戸市東灘区役所と連携して、夏休み期間中に小学校高学年を対象とする「東灘キッズ・サイエンス」を開催し、理科に特化した親子での体験学習を行っている。	女子学生確保及び志願者数増に向けた取組として、本学の理工学部、知能情報学部、ﾌﾛﾝﾃｨｱｻｲｴﾝｽ学部と協調して、特定の女子校を主な対象とした学部見学会や学修体験会等を令和4年度から実施しており、取組を継続している。 令和7年度入試より、公募制推薦入試【女子特別推薦型】を理系学部・学科において実施しており、令和8年度入試では、理工学部環境・エネルギー工学科においても実施し、結果として40名の入学定員に対して、その他の入試制度も含めて11名の女子学生が入学した。 地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）に関しては、令和7年8月1日に高校生を対象とした「理工学部一日科学体験」を実施した。また、系列校である甲南高等学校・中学校に対して、10月25日に理工学部の施設見学及び大学での教育・研究を体験する催しを実施した。また、神戸市東灘区役所と連携して、8月21日に「東灘区夏休み こども いろいろ体験プログラム」を開催し、小学生に向けて理科に特化した体験学習を行った。これらの他、「総合的な探究活動の時間」に関連して出張講義などを40件行った。以上の取組みにおいては、理工学部環境・エネルギー工学科所属予定の教員も参画しており、多様な入学者の確保につなげる計画である。	

大学名	甲南大学

１.本事業対象となる学部等の状況

<合計>

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人				40															
		編入学定員	人				0															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	40															
		入学者数	人	-	-	-	50															
		女子学生数	人	-	-	-	11															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	0															
		入学者数	人	-	-	-	0															
		女子学生数	人	-	-	-	0															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	40															
		入学者数(B)	人	-	-	-	50															
		女子学生数	人	-	-	-	11															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	1.25															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	40															
		編入学定員	人	-	-	-	0															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	50															
		編入学者数	人	-	-	-	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	1.25															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	0															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	0															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	0															

大学名	甲南大学

本事業対象となる学部等の個数	1

１.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	既存学部における学科の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	理工学部環境・エネルギー工学科（工学関係・理学関係）

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定		届出	開設															
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人				40															
		編入学定員	人				0															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	40															
		入学者数	人	-	-	-	50															
		女子学生数	人	-	-	-	11															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	1															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	0															
		入学者数	人	-	-	-	0															
		女子学生数	人	-	-	-	0															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	0															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	40															
		入学者数(B)	人	-	-	-	50															
		女子学生数	人	-	-	-	11															
		社会人学生数	人	-	-	-	0															
		留学生数	人	-	-	-	1															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	1.25															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	40															
		編入学定員	人	-	-	-	0															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	50															
		編入学者数	人	-	-	-	0															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	1.25															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	0															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	0															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	0															

大学名	甲南大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	320	320	320	340															
		入学者数	人	369	346	345	400															
		女子学生数	人	115	97	92	134															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	3	9	9															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	320	320	320	340															
		入学者数(B)	人	369	346	345	400															
		女子学生数	人	115	97	92	134															
		社会人学生数	人	0	0	0	0															
		留学生数	人	0	3	9	9															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.15	1.08	1.08	1.18															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,280	1,280	1,280	1,300															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	1,459	1,473	1,464	1,493															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.15	1.14	1.15															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	289	318	337																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	33	35	42	31															
		授業科目の単位数	単位	157	160	227	146															

大学名	甲南大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	1940	1940	1940	1940															
		入学者数	人	2256	2116	2139	2278															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	1,940	1,940	1,940	1,940															
		入学者数(B)	人	2,256	2,116	2,139	2,278															
		入学定員充足率（B/A）	倍	1.16	1.09	1.10	1.17															
	収容定員等	収容定員(C)	人	7760	7760	7760	7760															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	8851	8924	8955	8859															
		編入学者数	人	-	-	-	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	1.14	1.15	1.15	1.14															

４.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定			開設			完成年度							
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	382,109	378,616	341,730	423,108	463,569	457,043	527,696	224,925											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	394,611
本事業による助成金の額(F)	千円	351,250
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	403,392

特記事項